夏期講習 入門編 第三回 衝突計算(運動量保存と反発係数) 衝突の公式

(1)

2

※ 正の方向を定めよ! 衝突後の速度は単純に!

基本例題

質量 2.0[kg]、3.0[kg] の2つの小球 A、B がある。小球 A を右向きに 3.0[m/s]、小球 B を左向きに 5.0[m/s] で正面衝突させた。

このときの衝突は弾性衝突であるとする。

問1 小球A、Bの衝突後の速度を定義し、運動量保存の法則、跳ね返り係数の2つの関係から関係式を作りなさい。

問2 衝突後の物体A、Bの速度を求めなさい。

このときの衝突は完全非弾性衝突であるとする。

問3 小球A、Bの衝突後の速度を定義し、運動量保存の法則、跳ね返り係数の2つの関係から関係式を作りなさい。

問2 衝突後の物体A、Bの速度を求めなさい。

このときの衝突の跳ね返り係数は0.50であるとする。

問1 小球A、Bの衝突後の速度を定義し、運動量保存の法則、跳ね返り係数の2つの関係から関係式を作りなさい。

問2 衝突後の物体A、Bの速度を求めなさい。

夏期講習 入門編 第三回 衝突計算(運動量保存と反発係数) 解答解説 衝突の公式

- ① 正の向きを決め、未知数の速度を正の向きにとる(下手な考え休むに似たり)
- ② 運動量保存の法則とはねかえい係数を使って関係式を2つ作って解くだけ!
 - ※ 正の方向を定めよ! 衝突後の速度は単純に(正の向きに動くとしておけ)!

基本例題

質量 2.0[kg]、3.0[kg] の2つの小球 A、B がある。小球 A を右向きに 3.0[m/s]、小球 B を左向きに 5.0[m/s] で正面衝突させた。 このときの衝突は弾性衝突であるとする。

問 1 右向きを正とし、小球 A、B の衝突後の速度を右向きに v_A 、 v_B とし、運動量保存の法

則より
$$2\times(+3)+3\times(-5)=2v_A+3v_B$$
 ・・・①、跳ね返り係数より $1=-\frac{(+v_A)-(+v_B)}{(+3)-(-5)}$ ・・・②

が成立する。整理して $2v_A+3v_B=-9$ ・・・①、 $-v_A+v_B=8$ ・・・② である。

問 2 ①、②を解いて v_A =-6.6 、 v_B =1.4 であるから、衝突後は、小球 A は左向きに 6.6 [m/s]、小球 B は右向きに 1.4[m/s] で進む。

問3 はねかえり係数がゼロに変わるだけで前問と同様に解けばよい。

右向きを正とし、小球 A、B の衝突後の速度を右向きに v_A 、 v_B とし、運動量保存の法則

より
$$2\times(+3)+3\times(-5)=2v_A+3v_B$$
 ・・・③、跳ね返り係数より $0=-\frac{(+v_A)-(+v_B)}{(+3)-(-5)}$ ・・・④ が

成立する。整理して $2v_A+3v_B=-9$ ・・・③、 $v_A=v_B$ ・・・④ である。

[別解] 完全非弾性衝突は両物体が合体するので、衝突後は同じ速度になるから未知数は 1つになるから、運動量保存の法則から $2\times(+3)+3\times(-5)=(2+3)v$ でよい。

問4 衝突後の物体A、Bの速度を求めなさい。

③、④から $v_A=v_B=-1.8$ になる。よって、小球 A、B は合体し左向きに 1.8[m/s] で進む。 問 5 はねかえり係数が 0.50 になるだけで前問と同様に解けばよい。

右向きを正とし、小球 A、B の衝突後の速度を右向きに v_A 、 v_B とし、運動量保存の法則

より
$$2\times(+3)+3\times(-5)=2\upsilon_A+3\upsilon_B$$
 ・・・・⑤、跳ね返り係数より $0.5=-\frac{(+\upsilon_A)-(+\upsilon_B)}{(+3)-(-5)}$ ・・・・⑥

が成立する。整理して $2v_A+3v_B=-9$ ・・・⑤、 $-v_A+v_B=4$ ・・・⑥ である。

問 0 ①、②を解いて $v_A=-0.6$ 、 $v_B=0.2$ であるから、衝突後は、小球 A は左向きに 0.6 [m/s]、小球 B は右向きに 0.2[m/s] で進む。